

常呂川 減災に関する取組方針 フォローアップ(R2)

資料3

大項目	中項目	小項目	目標時期	取組機関	スケジュール (上段:計画、下段:実績)						H30年の取組状況	R1年の取組状況	R2年の取組内容
					H28	H29	H30	H31 R1	R2				
迅速かつ確実な避難行動のための取組	■危機管理型ハード対策	① 国管理区間 ・天端保護 (常呂左・右岸地区、福山左・右岸地区、日吉左・右岸地区、上常呂左・右岸地区、置戸上流右岸地区)	R2年度まで実施	網走開建	■	■	■	■	■	■	-	-	【天端保護】 R2年:常呂左・右岸、端野左岸、上常呂左・右岸、置戸上流右岸、福山左岸・右岸、日吉左岸・右岸
		② 道管理区間 ・堤防天端の保護箇所の検討と実施	H29年度から実施	振興局		■	■	■	■	■	・堤防天端の保護箇所の検討と実施【天端保護】 訓子府川(実施) 無加川(検討)	・堤防天端の保護箇所の検討【天端保護】 無加川(検討)	・堤防天端の保護箇所の実施【天端保護】 無加川(東相内地区で実施)
	■防災活動拠点の整備	① 大規模災害時における活動拠点等の計画検討及び既存拠点における自家発電装置の設置や耐水化の検討	H28年度から実施	置戸町	■	■	■	■	■	■	・施設耐水化の検討 ・庁舎大規模改修に合わせた自家発電装置の設置検討	・施設耐水化の検討 ・庁舎大規模改修に合わせた各主要施設へ自家発電機の設置検討 ・避難施設の停電時切り替えシステムの導入検討	・施設耐水化の検討 ・庁舎大規模改修に合わせた各主要施設へ自家発電機の配備準備 ・避難施設の停電時切り替えシステムの整備
		① 高齢者をはじめとする住民への的確な情報伝達を図るため、防災情報伝達システムの整備を実施	H28年度から実施	訓子府町	■	■	■	■	■	■	・メール(登録制)による緊急情報の配信と利用促進 ・町内2自治会で自主防災組織が結成	・メール(登録制)による緊急情報の配信と利用促進 ・防災拠点、避難所に公衆無線LANを整備	・メール(登録制)による緊急情報の配信と利用促進 ・自主防災組織の育成を図った
	置戸町		■	■	■	■	■	■	■	・メール(登録制)による緊急情報の配信と利用促進 ・自主防災組織の育成を図った ・平成30年4月より、デジタル防災行政無線及び戸別受信機の運用開始	・メール(登録制)による緊急情報の配信と利用促進 ・自主防災組織の設立支援と育成 ・広報車両の放送機材の更新	・メール(登録制)による緊急情報の配信と利用促進 ・自主防災組織の設立支援と育成を図った	
	■避難勧告等情報伝達機器の整備	② 避難勧告等の発令タイミングの精度向上に資する水文観測機器の整備	H29年度から実施	網走開建	■	■	■	■	■	■	・水害リスクの高い箇所に危機管理型水位計を設置	・水害リスクの高い箇所に危機管理型水位計を設置 ・水害リスクの高い箇所に監視カメラを設置	-
				振興局	■	■	■	■	■	■	・水害リスクの高い箇所に、危機管理型水位計設置を行った N=8基設置 (東亜川、キナチャウシナイ川、ルシニコ川、小石川、ヘンゲバウシ川、オロムシ川、訓子府川、愛の川)	・水害リスクの高い箇所に、危機管理型水位計を設置 N=13基設置予定(無加川ほか) ・水害リスクの高い箇所に監視カメラを設置予定 N=16基設置予定(訓子府川ほか)	・水害リスクの高い箇所に、危機管理型水位計を設置 N=13基設置(無加川ほか)
				北見市	■	■	■	■	■	■	■	・水害リスクの高い箇所に監視カメラを設置(無加川・訓子府川)	・水害リスクの高い箇所に監視カメラを設置(ボン隈川・ハナワビバウシ川)

常呂川 減災に関する取組方針 フォローアップ(R2)

資料3

大項目	中項目	小項目	目標時期	取組機関	スケジュール (上段:計画、下段:実績)					H30年の取組状況	R1年の取組状況	R2年の取組内容	
					H28	H29	H30	H31 R1	R2				
迅速かつ確実な避難行動のための取組	■洪水に対してリスクの高い箇所と、避難場所・避難経路の把握 ソフト対策	① 想定最大規模の降雨による浸水想定区域、家屋倒壊等氾濫想定区域、破堤点別洪水浸水想定区域図(浸水ナビ)の公表	H28年度までに実施	網走開建	■	■	■	■	■	完	-	・鹿ノ子ダム下流河川における浸水想定図を作成	-
				振興局	■	■	■	■	■	完	・その他の支川についても簡易的な手法を用いた危険区域図を関係市町に提供。 (常呂川、愛の川、オシマ川ほか)	-	-
		② 想定最大規模の降雨による浸水想定区域に基づいた避難場所や避難経路の設定と広域的な二次避難所等の検討	H28年度から実施	北見市	■	■	■	■	■	■	・新たな洪水浸水想定に基づく常呂川、無加川下流及び北海道管理河川流域(北見・留辺蘂自治区)のハザードマップの作成に伴い、避難所の見直しを行った	・各種機会を通じた避難所等の周知、出前講座や防災訓練等を活用した理解促進	・各種機会を通じた避難所等の周知、出前講座や防災訓練等を活用した理解促進
				訓子府町	■	■	■	■	■	■	・新たな洪水浸水想定に基づく避難所の見直しの検討 ・広域的な二次避難所等の検討	・新たな洪水浸水想定に基づく避難所の見直しの検討 ・広域的な二次避難所等の検討	・新たな洪水浸水想定に基づく避難所の見直し ・広域的な二次避難所等の検討
				置戸町	■	■	■	■	■	■	・広域的な二次避難所等の検討 ・避難所の見直し	・広域的な二次避難所等の検討 ・避難所の見直し	・広域的な二次避難所等の検討 ・避難所の見直し
		③ 想定最大規模の降雨による浸水想定区域に基づいた、ハザードマップの作成、まるごとまちごとハザードマップの検討	H28年度から実施	網走開建	■	■	■	■	■	■	・ハザードマップ等の作成の支援要請がなかった	・関係市町について支援要請がなかった	・関係市町について支援要請がなかった
				气象台	■	■	■	■	■	■	・ハザードマップ等の作成の支援要請がなかった	・ハザードマップ等の作成の支援要請がなかった	・ハザードマップ等の作成の支援要請がなかった
			H29年度から実施	振興局	■	■	■	■	■	■	・支援の要請はなかった	・支援の要請はなかった	・支援の要請はなかった
				北見市	■	■	■	■	■	■	・新たな洪水浸水想定に基づく常呂川、無加川下流及び北海道管理河川流域(北見・留辺蘂自治区)のハザードマップを作成した。	・各種機会を通じた周知、出前講座や防災訓練等を活用した理解促進	・各種機会を通じた周知、出前講座や防災訓練等を活用した理解促進
			H28年度から実施	訓子府町	■	■	■	■	■	■	・道管理河川の浸水想定区域も含めた防災マップ作成の準備	道管理河川の浸水想定区域も含めた防災マップ作成の準備	道管理河川の浸水想定区域も含めた防災マップの準備
		置戸町		■	■	■	■	■	■	・防災ガイドマップを使用した防災講話の実施	・防災ガイドマップを使用した防災講話の実施 ・国管理河川以外の浸水想定区域に基づいた防災ガイドマップの更新検討	・防災ガイドマップを使用した防災講話の実施 ・国管理河川以外の浸水想定区域に基づいた防災ガイドマップの更新	

大項目	中項目	小項目	目標時期	取組機関	スケジュール (上段:計画、下段:実績)					H30年の取組状況	R1年の取組状況	R2年の取組内容							
					H28	H29	H30	H31 R1	R2										
迅速かつ確実な避難行動のための取組	■避難情報、警報等をわかりやすく、適切なタイミングで確実に伝達するための取組 ソフト対策	① 住民の避難行動を促すため、スマートフォンを活用したリアルタイム情報の提供や洪水予報等をプッシュ型で情報発信するためのシステム構築	H29年度まで実施	網走開建	■	■	■	■	■	■	■	■	-	-	-				
		② メール・テレビ・ラジオ・サイレン等、多様な手段を用いた避難情報発信体制の強化及び近隣住民同士での連絡体制等の人的ネットワーク(自主防災組織等)の構築	H28年度から実施	北見市	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	・避難行動支援者名簿の作成 ・避難支援等関係者への名簿情報の提供	・自主防災組織結成の促進を図った ・避難支援等関係者への名簿情報の提供	・自主防災組織結成の促進を図った		
				訓子府町	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	・自主防災組織の結成促進やメール配信サービスの利用促進(登録制)を図った ・町内2自治会で自主防災組織が結成	・自主防災組織の結成促進やメール配信サービスの利用促進(登録制)を図った	・自主防災組織の結成促進やメール配信サービスの利用促進(登録制)を図った	
				置戸町	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	・メール配信サービス利用促進(登録者の増)を図った ・自主防災組織の育成及び組織内の連絡体制の構築(避難行動要支援者への連絡体制) ・平成30年4月より、デジタル防災行政無線及び戸別受信機の運用開始	・メール配信サービス利用促進(登録者の増)を図った ・自主防災組織の育成及び組織内の連絡体制の構築(避難行動要支援者への連絡体制)	・メール配信サービス利用促進(登録者の増)を図った ・自主防災組織の育成及び組織内の連絡体制の構築(避難行動要支援者への連絡体制)
				消防組合	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	・継続実施	・継続実施	・引き続き実施した	
③ わかりやすく、切迫感の伝わりやすい情報となるよう、洪水予報文の改良、気象情報発信時の「危険度色分け」「警報級の現象」やメッシュ情報等の改善	H29年度までに実施	網走開建	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	-	-	-				
				気象台	■	■	■	■	■	■	■	■	-	-	-				

常呂川 減災に関する取組方針 フォローアップ(R2)

資料3

大項目	中項目	小項目	目標時期	取組機関	スケジュール (上段:計画、下段:実績)					H30年の取組状況	R1年の取組状況	R2年の取組内容		
					H28	H29	H30	H31 R1	R2					
迅速かつ確実な避難行動のための取組	■避難情報、警報等をわかりやすく、適切なタイミングで確実に伝達するための取組 ソフト対策	④ 避難勧告等の発令を判断するための情報や、住民への情報伝達方法及び伝達内容についての市町職員向けマニュアルの作成や想定最大規模の降雨による浸水想定区域に基づいた地域防災計画の見直し	H28年度から実施	北見市	■	■	■	■	■	■	・新たな洪水浸水想定に基づく地域防災計画の見直しを検討	・新たな洪水浸水想定に基づく地域防災計画の所要の修正(令和元年度中)	・水防法、国ガイドライン、道地域防災計画との照合、整合を図りながら関連計画、マニュアルの整備検討	
				訓子府町	■	■	■	■	■	■	・水災害に関するマニュアル等の整備を図った ・新たな洪水浸水想定に基づく地域防災計画の見直し準備	・水災害に関するマニュアル等の整備・見直しを図る ・新たな洪水浸水想定に基づく地域防災計画の見直し準備	・水災害に関するマニュアル等の整備・見直しを図った ・新たな洪水浸水想定に基づく地域防災計画の見直し準備	
				置戸町	■	■	■	■	■	■	・水災害に関するマニュアル等の整備を図った ・新たな洪水浸水想定に基づく地域防災計画の見直しやBCP計画の策定の検討	・新たな洪水浸水想定に基づく地域防災計画の見直しやBCP計画の策定の準備	・新たな洪水浸水想定に基づく地域防災計画の見直しやBCP計画の策定の準備	
		⑤ 訓練を通じ、避難勧告等の発令に着目したタイムラインを改良(H28年8月洪水を踏まえ、道路通行に関するタイムラインの検討を含む)	H29年度から実施	網走開建	■	■	■	■	■	■	・常呂川下流地区水害タイムライン策定に向け、H30年11月に自治体ワーキンググループ、H30年12月及びH31年2月に検討会を開催	・常呂川下流地区水害タイムライン試行版を作成し、運用を開始。また、関係機関と連携し、見直しを行った。	・常呂川タイムライン検討会を開催した	
				気象台	■	■	■	■	■	■	・常呂川下流地区水害タイムライン検討会に参画	・常呂川下流地区水害タイムライン検討会に参加 ・振興局作成のタイムライン見直しに協力	・常呂川下流地区水害タイムライン試行版の運用を行い、関係機関と連携 ・常呂川下流地区水害タイムライン検討会に参加 ・Skypeを用いた事務局会議に参加し、悪天の気象解説を実施	
				振興局	■	■	■	■	■	■	・常呂川下流地区水害タイムライン検討会に参加 ・水位周知河川について、構成市町と協議し、避難勧告着目型タイムラインを作成	・常呂川下流地区水害タイムライン検討会に参加した ・避難名勧告等に関するガイドラインの変更を踏まえた避難勧告着目型タイムラインを作成した	・常呂川下流地区水害タイムライン検討会に参加 ・今後の洪水状況等において地域の課題を検証した	
				自衛隊	■	■	■	■	■	■	・意見交換会に参加 ・常呂川下流地区水害タイムライン検討会に参加	・意見交換会に参加 ・常呂川下流地区水害タイムライン検討会に参加及び試行の見直し実施	・意見交換会に参加 ・常呂川下流地区水害タイムライン検討会に参加及び試行の見直し実施	
				北海道警察	■	■	■	■	■	■	・意見交換会に参加 ・常呂川下流地区水害タイムライン検討会に参加	・意見交換会に参加 ・常呂川下流地区水害タイムライン検討会に参加	・意見交換会に参加 ・関係機関との訓練を通じ、必要に応じてタイムラインの見直しを行った	
				R1年度から実施	北見警察署	■	■	■	■	■	■		・意見交換会に参加 ・常呂川下流地区水害タイムライン検討会に参加	・常呂川下流地区水害タイムライン検討会に参加 ・常呂川下流地区水害タイムラインの運用を行い、必要に応じ見直しを行った

常呂川 減災に関する取組方針 フォローアップ(R2)

資料3

大項目	中項目	小項目	目標時期	取組機関	スケジュール (上段:計画、下段:実績)					H30年の取組状況	R1年の取組状況	R2年の取組内容
					H28	H29	H30	H31 R1	R2			
迅速かつ確実な避難行動のための取組	■避難情報、警報等をわかりやすく、適切なタイミングで確実に伝達するための取組	⑤ 訓練を通じ、避難勧告等の発令に着目したタイムラインを改良(H28年8月洪水を踏まえ、道路通行に関するタイムラインの検討を含む)	H29年度から実施	北見市						・常呂川下流地区水害タイムライン検討会(自治体ワーキンググループ)に参画	・常呂川下流地区水害タイムライン検討会(自治体ワーキンググループ)に参画 ・防災関係機関と訓練を実施し、タイムラインの見直しを行った	・常呂川下流地区水害タイムライン検討会(自治体ワーキンググループ)に参画 ・防災関係機関と訓練を実施し、タイムライン見直しを行った
				訓子府町						・意見交換会に参加 ・常呂川下流地区水害タイムライン検討会を傍聴	・タイムラインの検討を継続している	・意見交換会に参加する ・構成市町と訓練を実施し、タイムライン見直しを行った
				置戸町						・意見交換会に参加	・意見交換会に参加	・意見交換会に参加
				消防組合						・意見交換会に参加 ・常呂川下流地区水害タイムライン検討会に参加	・常呂川下流地区水害タイムライン検討会に参加 ・意見交換会に参加	・コロナ禍により意見交換会等に参加する機会がなかった
	■水害リスク情報の周知や自助防災意識の啓発	① 住民が参加した水災害避難訓練、水防災に関する講習会・ワークショップ、小中学生への防災教育、常呂川流域の水害特性を踏まえた広報活動を実施する	引き続き実施	網走開建						・関係機関の訓練等に参加、また講習会や防災学習等に参加 ・学校現場での防災教育を支援するため副読本を作成	・関係機関主催の訓練等に参加、また、講習会や防災学習等に参加 ・北見工業大学 地域と歩む防災研究センターと連携協定を結び、地域の防災力向上を図った	・出前講座により防災学習会などの広報活動を行った。
				气象台						・関係機関の訓練等に参加、また講習会や防災学習等に参加	・置戸町境野地区自主防災組織防災訓練に参加 ・1日防災学校や防災授業の実施に協力(置戸中、北見柏陽高)	・1日防災学校や防災授業の実施に協力(北見市立大正小、北見市常呂中) ・社会福祉協議会の後援会(北見) ・防災キャンプに協力(ネイバル北見) ・「eラーニング形式の学習教材」を用いた関係機関との連携
				振興局						・関係機関の講習会や防災学習等に参加	・1日防災学校の実施(置戸中学校) ・市町村主催の総合防災訓練への参加 ・北海道総合防災訓練(厳冬期)の実施(北見市共催)	・防災授業を実施(ネイバル北見) ・道の避難所運営訓練に関する情報を各関係機関に提供。
				自衛隊						・関係機関の訓練等に参加、また講習会や防災学習等に等に参加	・関係機関の訓練等に参加、また、講習会や防災学習等に等に参加	・関係機関の訓練等、また講習会や防災学習等はなかった
				北海道警察						・関係機関の訓練等に参加、また講習会や防災学習等に参加	・関係機関の訓練等に参加	・引き続き関係機関の訓練等に参加また講習会や防災学習等に参加

常呂川 減災に関する取組方針 フォローアップ(R2)

資料3

大項目	中項目	小項目	目標時期	取組機関	スケジュール (上段:計画、下段:実績)					H30年の取組状況	R1年の取組状況	R2年の取組内容	
					H28	H29	H30	H31 R1	R2				
迅速かつ確実な避難行動のための取組	■水害リスク情報の周知や自助防災意識の啓発 ソフト対策	① 住民が参加した水災害避難訓練、水防災に関する講習会・ワークショップ、小中学生への防災教育、常呂川流域の水害特性を踏まえた広報活動を実施する	R1年度から実施	北見警察署				■	■	—	・関係機関の訓練等に参加 ・ミニ広報誌や各種報道活動を通じて防災意識を啓発	・関係機関の訓練等に参加 ・ミニ広報誌や各種報道活動を通じて防災意識を啓発	
			引き続き実施	北見市		■	■	■	■	■	・子どもや住民を対象とした出前講座の実施 ・関係機関や民間企業を交えた総合防災訓練の実施	・子どもや住民を対象とした出前講座の実施 ・関係機関や民間企業を交えた総合防災訓練の実施	・協力を受けた中学校での防災研修の実施
				訓子府町		■	■	■	■	■	・自主防災組織主体の防災訓練を実施	・自主防災組織主体の防災訓練を推進	・訓子府中学校による1日防災学校の実施
				置戸町		■	■	■	■	■	・H28と同様の取り組みを実施 ・自主防災組織設立及び養成を目的とした学習会の実施	・H30の取組を継続して実施 ・置戸中学校による1日防災学校の実施 ・防災訓練の実施 ・要配慮者利用施設への防災教育の実施	・R1の取組を継続して実施 ・置戸高校と自衛隊と協力し、要配慮者救助訓練を実施 ・置戸小学校へ防災教育の実施 ・勝山自治会へ防災備蓄品展示会の実施
				消防組合		■	■	■	■	■	・関係機関の訓練等に参加、講演会や防災学習等に参加	・関係機関の訓練等に参加、講演会や防災学習等に参加	・コロナ禍により関係機関の訓練や講習会や防災学習等に参加する機会がなかった
		引き続き実施	網走開建		■	■	■	■	■	・各関係機関主催の訓練等に参加 ・他機関が実施する訓練を見学することにより、各自の訓練にフィードバックできるよう、網走開建管内の国管理区間の全機関が予定している訓練予定について情報共有・提供した	・訓練に参加 ・他機関が実施する訓練を見学することにより、各自の訓練にフィードバックできるよう、網走開建管内の国管理区間の全機関が予定している訓練予定について情報共有・提供	・コロナウィルス感染拡大防止のため見送られた	
		② 関係機関や地域住民のほか民間企業も参加した総合的な防災訓練の実施	引き続き実施	気象台		■	■	■	■	■	・各関係機関主催の訓練等に参加	・各関係機関主催の訓練等に参加 他の行事等と重なり、北見市へは参加することができなかった	・訓練に参加する機会がなかった
				振興局		■	■	■	■	■	・北見市防災総合訓練に参加	・北見市防災総合訓練に参加	・引き続き訓練に参加
				自衛隊		■	■	■	■	■	・各関係機関主催の訓練等に参加	・訓練に参加	・各関係機関主催の訓練等はなかった
				北海道警察		■	■	■	■	■	・各関係機関主催の訓練等に参加	・訓練に参加	・引き続き訓練に参加
			R1年度から実施	北見警察署				■	■	■	—	・関係機関の訓練等に参加	・関係機関の訓練等に参加

常呂川 減災に関する取組方針 フォローアップ(R2)

資料3

大項目	中項目	小項目	目標時期	取組機関	スケジュール (上段:計画、下段:実績)					H30年の取組状況	R1年の取組状況	R2年の取組内容	
					H28	H29	H30	H31 R1	R2				
迅速かつ確実な避難行動のための取組	■水害リスク情報の周知や自助防災意識の啓発 ソフト対策	② 関係機関や地域住民のほか民間企業も参加した総合的な防災訓練の実施	引き続き実施	北見市	■	■	■	■	■	■	・防災総合訓練を実施	・防災総合訓練を実施	新型コロナウイルス感染症の関係で中止
				消防組合	■	■	■	■	■	■	・各関係機関主催の訓練等に参加	・各関係機関主催の訓練等に参加	・コロナ禍により訓練に参加する機会がなかった
			H29年度から実施	置戸町	■	■	■	■	■	・平成30年度は、防災学習会を複数回実施	・関係機関が参加する防災訓練を実施 ・防災訓練のほか学習会を複数回実施	・町民向けに防災備蓄展示会を実施 ・置戸高校と自衛隊と協力し、要配慮者救助訓練を実施 ・小学生へ対し防災学習会などを実施	
			H30年度から実施	訓子府町	■	■	■	■	■	・関係機関を交えた総合防災訓練の実施	・北海道総合防災訓練に参加	・各関係機関にシェイクアウト訓練の実施周知	
		③ 流域住民や関係機関に対して、ダム機能や効果、洪水時における操作と体制に関する防災教育の実施	引き続き実施	網走開建	■	■	■	■	■	■	・高校生や流域住民が参加したダム見学会を実施	・関係機関に鹿ノ子ダムの防災操作等を説明し、「異常豪雨の頻発化に備えたダムの洪水調節機能に関する検討会」の提言に関する情報提供	・引き続き実施
				北見市	■	■	■	■	■	■	・子どもや住民を対象とした出前講座の実施	・子どもや住民を対象とした出前講座の実施	・引き続き実施を検討
				訓子府町	■	■	■	■	■	■	・継続実施 ・網走開建の協力を得て、広報等での周知等	・網走開建の協力を得て、町内会長を対象に鹿ノ子ダムの放流について説明	・鹿ノ子ダム管理支所との意見交換実施
				置戸町	■	■	■	■	■	■	・町広報誌で周知	・町広報誌で周知 ・地区防災訓練において鹿ノ子ダム管理支所による防災教育を実施	・町広報誌での周知、町民向け防災学習及び小学生を対象とした出前講座の実施
		④ 要配慮者利用施設に係る避難確保計画の作成	H29年度から実施	振興局	■	■	■	■	■	■	・要配慮者施設情報の基礎資料提供	・支援の要請はなかった	・支援の要請はなかった
				H30年度から実施	北見市	■	■	■	■	■	・浸水想定区域内における要配慮者施設の把握を推進 ・要配慮者施設の避難確保計画作成に向けた部内での体制構築を検討	・浸水想定区域内における要配慮者施設の把握 ・要配慮者施設が避難確保計画を作成するよう部内での体制構築中	・継続的な避難確保計画の作成促進、作成状況の確認及び作成支援

常呂川 減災に関する取組方針 フォローアップ(R2)

資料3

大項目	中項目	小項目	目標時期	取組機関	スケジュール (上段:計画、下段:実績)					H30年の取組状況	R1年の取組状況	R2年の取組内容		
					H28	H29	H30	H31 R1	R2					
迅速かつ確実な避難行動のための取組	■水害リスク情報の周知や自助防災意識の啓発 ソフト対策	④ 要配慮者利用施設に係る避難確保計画の作成	H30年度から実施	訓子府町			■	■	■	■	■	・浸水区域内における要配慮者施設を把握 ・町内の要配慮者施設が作成する避難確保計画の作成支援	・支援の要請はなかった	・支援の要請はなかった
				置戸町			■	■	■	■	■	・町内の要配慮者利用施設による避難確保計画作成への支援	・町内の要配慮者利用施設による避難確保計画作成への支援	・町内の要配慮者利用施設による避難確保計画作成への支援
		⑤ 要配慮者利用施設の避難確保計画に基づく避難訓練の実施	R1年度から実施	北見市			■	■	■	■	・防災総合訓練実施会場地域に所在する要配慮者利用施設の避難訓練促進及び参加	・防災総合訓練実施会場地域に所在する要配慮者利用施設の避難訓練促進及び参加	・要配慮者施設の避難確保計画に基づく避難訓練の実施に係る支援	
				訓子府町				■	■	■	—	・支援の要請はなかった	・支援の要請はなかった	
				置戸町				■	■	■	・避難計画未策定につき、訓練未実施	・避難確保計画未策定につき、未実施	・避難確保計画未策定につき、未実施	
迅速かつ確実な水防活動のための取組	■洪水氾濫を未然に防ぐ対策 ハード対策	① 国管理区間 ・河道掘削 (常呂左岸地区、福山左・右岸地区、日吉左・右岸地区) ・浸透対策 (上常呂左岸地区、訓子府右岸地区)	R2年度までに実施	網走開建			■	■	■	■	■	【河道掘削】 福山左岸・右岸	【河道掘削】 福山左岸・右岸、日吉左岸・右岸	【河道掘削】 常呂左岸、福山左岸、日吉左岸 【浸透対策】 訓子府右岸
		② 北海道管理区間 ・河川整備:河道掘削、堤防整備(無加川上流、小石川、日吉川、ルクシニコロ川、ポンニコロ川、ポンケトナイ川)	H28年度から実施	振興局			■	■	■	■	・河道掘削や堤防整備等を実施 【河道掘削】 無加川、日吉川、ルクシニコロ川、ポンニコロ川、ポンケトナイ川 【堤防整備】 日吉川、ルクシニコロ川 ・小町川の改修に向け、環境調査等を実施	・河道掘削や堤防整備等を実施 【河道掘削】 無加川、日吉川、ルクシニコロ川、ポンニコロ川、ポンケトナイ川、訓子府川 【堤防整備築堤】 日吉川 ・小町川の改修に向け、河道設計を実施	・河道掘削や堤防整備等を実施 【河道掘削】 無加川、ルクシニコロ川、ポンニコロ川、ポンケトナイ川、訓子府川 ・小町川の改修に向け、河道設計を実施	

大項目	中項目	小項目	目標時期	取組機関	スケジュール (上段:計画、下段:実績)					H30年の取組状況	R1年の取組状況	R2年の取組内容	
					H28	H29	H30	H31 R1	R2				
迅速かつ確実な水防活動のための取組	ハード対策 ■水防活動の資機材整備	① 資機材運搬時間の短縮を図るため、水防資機材の備蓄基地等の配置検討や、資機材量及び新技術を活用した資機材導入の検討・配備	H28年度から実施	網走開建	■	■	■	■	■	■	・福山左岸水防拠点整備の検討 ・水防拠点など必要性の検討	・福山左岸水防拠点整備の検討	・福山左岸で水防拠点の基盤盛土を実施
				振興局	■	■	■	■	■	■	・防災装備品を計画的に整備	・計画的に整備した	・計画的に整備した
				自衛隊	■	■	■	■	■	■	・防災装備品を上級部隊に要望	・災害用ドローンの配置 ・人命救助セットの整備	・新規にきた装備品の訓練を実施するとともに、計画的な整備を実施した
				北見市	■	■	■	■	■	■	・災害用備蓄品の充実を図った	・災害用備蓄品の充実を図った	・災害用備蓄品の充実を図った
				訓子府町	■	■	■	■	■	■	・計画的に災害用備蓄品の充実を図った	・計画的に災害用備蓄品の充実を図った	・計画的に災害用備蓄品の充実を図った
				置戸町	■	■	■	■	■	■	・計画的に災害用備蓄品の充実を図った	・計画的な資機材の導入について検討	・計画的に災害用備蓄品の充実を図った
	ソフト対策 ■水防活動に必要な情報の共有	① 迅速な水防活動を支援するため、水防資機材等の保有状況の情報共有	H28年度から実施	網走開建	■	■	■	■	■	■	・関係機関と協力し、防災ハンドブックを更新	・関係機関と協力し、防災ハンドブックを更新	・関係機関と協力し、防災ハンドブックを更新
				振興局	■	■	■	■	■	■	・関係機関と連携し、見直しを行った	・関係機関と情報を共有した	・関係機関と情報共有した
				自衛隊	■	■	■	■	■	■	・聞き取り調査に協力	・防災訓練時に各種装備品の情報共有を実施	・資料整理への協力と共有を図った
				北見市	■	■	■	■	■	■	・資料整理への協力と共有を図った	・引き続き協力と共有を図った	・引き続き協力と共有を図った
				訓子府町	■	■	■	■	■	■	・資料整理への協力と共有を図った	・資料整理への協力と共有を図った	・資料整理への協力と共有を図った

常呂川 減災に関する取組方針 フォローアップ(R2)

資料3

大項目	中項目	小項目	目標時期	取組機関	スケジュール (上段:計画、下段:実績)					H30年の取組状況	R1年の取組状況	R2年の取組内容
					H28	H29	H30	H31 R1	R2			
迅速かつ確実な水防活動のための取組	■水防活動に必要な情報の共有 ソフト対策	① 迅速な水防活動を支援するため、水防資機材等の保有状況の情報共有	H28年度から実施	置戸町	■	■	■	■	■	・資料整理への協力と共有を図った	・資料整理への協力と共有を図った	・資料整理への協力と共有を図った
				消防組合	■	■	■	■	■	・資料整理への協力と共有を図った ・資機材等の保有状況の確認と情報共有及び点検を実施	・資料整理への協力と共有を図った ・資機材等の保有状況の確認と情報共有及び点検を実施	・資料整理への協力と共有を図った ・引き続き、資機材等の保有状況の確認と情報共有及び点検を実施した
		② 毎年、重要水防箇所の見直しを行い、水防団や住民が参加する水害リスクの高い箇所の共同点検の実施	引き続き実施	網走開建	■	■	■	■	■	・重要水防箇所の見直しを行った ・関係機関と一体となった共同点検を実施	・重要水防箇所の見直しを行った ・関係機関と一体となって共同点検を実施	・重要水防箇所の見直しを行った
				振興局	■	■	■	■	■	・道管理河川の共同点検の実施方針を検討	・道管理河川の共同点検の実施方針を検討	・道管理河川の共同点検の実施方針を検討
				自衛隊	■	■	■	■	■	・各自治体と情報共有を図った	・各自治体と情報共有を図った	・各自治体と情報共有を図った
				北見市	■	■	■	■	■	・関係機関との共同点検を実施	・関係機関と共同点検を実施	・新型コロナウイルス感染症の関係で実施出来なかった
				訓子府町	■	■	■	■	■	・関係機関との共同点検を実施	・関係機関と共同点検を実施	・新型コロナウイルス感染予防により中止
				置戸町	■	■	■	■	■	・関係機関との共同点検を実施	・関係機関との共同点検を実施	・関係機関のほか住民等を交えた共同点検を実施
				消防組合	■	■	■	■	■	・関係機関と一体となって共同点検を実施	・関係機関と一体となって共同点検を実施	・コロナ禍により関係機関と一体となって共同点検を実施する機会がなかった
				網走開建	■	■	■	■	■	・関係機関主催の訓練等に参加	・関係機関主催の訓練等に参加	・コロナウイルス感染拡大防止のため訓練等は見送られた
■水防活動体制の強化	① 関係機関が連携した水防実働訓練、情報伝達訓練の実施	引き続き実施	気象台	■	■	■	■	■	・水防実働訓練に参加する機会がなかった	・水防実働訓練に参加する機会がなかった	・水防実働訓練に参加する機会がなかった	

大項目	中項目	小項目	目標時期	取組機関	スケジュール (上段:計画、下段:実績)					H30年の取組状況	R1年の取組状況	R2年の取組内容		
					H28	H29	H30	H31 R1	R2					
迅速かつ確実な水防活動のための取組	ソフト対策 ■水防活動体制の強化	① 関係機関が連携した水防実働訓練、情報伝達訓練の実施	引き続き実施	振興局	■	■	■	■	■	■	関係機関主催の訓練等に参加	関係機関主催の訓練等に参加	関係機関主催の訓練等に参加	
				自衛隊	■	■	■	■	■	■	関係機関主催の訓練等に参加	関係機関主催の訓練等に参加	関係機関主催の訓練等はなかった	
				北海道警察	■	■	■	■	■	■	関係機関主催の訓練等に参加	関係機関主催の訓練等に参加	引き続き関係機関主催の訓練等に参加	
			R1年度から実施	北見警察署				■	■	■	—	関係機関の訓練等に参加	関係機関の訓練等に参加	
			引き続き実施	北見市	■	■	■	■	■	■	■	継続実施	引き続き実施	新型コロナウイルス感染症の関係で実施出来なかった
				訓子府町	■	■	■	■	■	■	■	関係機関を交えた総合防災訓練の実施	北海道総合防災訓練に参加	職員や水防団員(消防団員)の水防訓練実施
				置戸町	■	■	■	■	■	■	■	国・北海道主催の訓練等に参加	国・北海道主催の訓練等に参加	新型コロナウイルス蔓延の影響により不参加
				消防組合	■	■	■	■	■	■	■	関係機関主催の訓練等に参加	関係機関主催の訓練等に参加	コロナ禍により関係機関主催の訓練等に参加する機会がなかった
			引き続き実施	網走開建	■	■	■	■	■	■	■	継続実施	継続実施	継続実施
				振興局	■	■	■	■	■	■	■	継続実施した	継続実施	継続実施
		北見市		■	■	■	■	■	■	■	継続実施	継続実施	継続実施	

常呂川 減災に関する取組方針 フォローアップ(R2)

資料3

大項目	中項目	小項目	目標時期	取組機関	スケジュール (上段:計画、下段:実績)					H30年の取組状況	R1年の取組状況	R2年の取組内容	
					H28	H29	H30	H31 R1	R2				
迅速かつ確実な水防活動のための取組	ソフト対策 ■水防活動体制の強化	② 水防活動の担い手となる水防団員(消防団員)の募集(リーフレットやHPを通じた広報活動)や水防協力団体の募集・指定の促進	引き続き実施	訓子府町	■	■	■	■	■	■	・継続実施	・広報誌を通じて募集情報を周知	・消防団加入促進支援事業を活用した商業施設でのPR活動を実施
				置戸町	■	■	■	■	■	■	・継続実施	・継続実施	・継続実施
				消防組合	■	■	■	■	■	■	・継続実施	・継続実施	・公共施設や市民の利用する店舗等にポスターを掲示したり、横断幕を作成し消防庁舎に掲示する等の促進活動を実施した
効率的・効果的な排水活動のための取組	ハード対策 ■排水活動の資機材整備	① 排水ポンプ車等、排水活動に必要な資機材の整備検討	H28年度から実施	網走開建	■	■	■	■	■	■	・関係機関と協力し、防災ハンドブックを更新	・関係機関と協力し、防災ハンドブックを更新	・関係機関と協力し、防災ハンドブックを更新
				自衛隊	■	■	■	■	■	■	・共有を図った	・幹事会等を通じ情報共有を図った	・引き続き防災会議の場を活用し、情報共有を実施 ・幹事会等を通じ情報共有を図った
				北見市	■	■	■	■	■	■	・共有を図った	・共有を図った	・共有を図った
		② 排水活動を行うスペースの整備検討	H28年度から実施	訓子府町	■	■	■	■	■	■	・共有を図った	・共有を図った	・共有を図った
				置戸町	■	■	■	■	■	■	・共有を図った	・共有を図った	・共有を図った
				消防組合	■	■	■	■	■	■	・共有を図った	・共有を図った	・書面等で共有を図った
				網走開建	■	■	■	■	■	■	・排水方法の検討を行うと共に、それに必要な施設の検討	・排水方法の検討を行うと共に、それに必要な施設の検討	・排水方法の検討を行うと共に、それに必要な施設の検討

常呂川 減災に関する取組方針 フォローアップ(R2)

資料3

大項目	中項目	小項目	目標時期	取組機関	スケジュール (上段:計画、下段:実績)					H30年の取組状況	R1年の取組状況	R2年の取組内容	
					H28	H29	H30	H31 R1	R2				
効率的・効果的な排水活動のための取組	■排水活動の資機材整備	② 排水活動を行うスペースの整備検討	H28年度から実施	振興局	■	■	■	■	■	■	・管理河川において浸水範囲(実績等)を基に、氾濫常襲地帯等を把握 ・常呂川流域にかかる農地水害連絡会議に参画し、日吉川において排水ビートの設置を行った	・引き続き内水氾濫実績を整理し、必要な排水活動のための検討を実施した	・道区間における浸水等氾濫実績を把握し、必要な排水活動のための検討
				網走開建	■	■	■	■	■	■	・排水計画の検討及び策定	・排水計画策定のための検討及び策定	・排水計画策定のための検討及び策定
	■排水活動の体制強化	① 既設排水系統を関係機関と共有し、資機材搬入経路と想定排水箇所の設定や排水機場の操作要領見直し検討を行い、排水ポンプ車等を活用した排水計画の作成	H29年度から実施	振興局	■	■	■	■	■	■	・関係機関と連携し整理を図った	・関係機関と連携し整理を図った	・関係機関と連携し整理を図った
				北見市	■	■	■	■	■	■	・資料整理への協力と共有を図った	・資料整理への協力と共有を図った	・資料整理への協力と共有を図った
				訓子府町	■	■	■	■	■	■	・資料整理への協力と共有を図った	・資料整理への協力と共有を図った	・資料整理への協力と共有を図った
				置戸町	■	■	■	■	■	■	・資料整理への協力と共有を図った	・資料整理への協力と共有を図った	・資料整理への協力と共有を図った
				消防組合	■	■	■	■	■	■	・資料整理への協力と共有を図った	・資料整理への協力と共有を図った	・資料整理への協力と共有を図った
				網走開建	■	■	■	■	■	■	・計画的に継続実施 ・幅広く関係機関への声かけを実施	・計画的に継続実施 ・幅広く関係機関への声かけを実施	・計画的に継続実施 ・幅広く関係機関への声かけを実施
	引き続き実施	振興局	■	■	■	■	■	■	・ポンプ排水訓練に参加	・ポンプ排水訓練に参加	・ポンプ排水訓練に参加		

常呂川 減災に関する取組方針 フォローアップ(R2)

資料3

大項目	中項目	小項目	目標時期	取組機関	スケジュール (上段:計画、下段:実績)					H30年の取組状況	R1年の取組状況	R2年の取組内容
					H28	H29	H30	H31 R1	R2			
効率的・効果的な排水活動のための取組	ソフト対策 ■排水活動の体制強化	② 排水ポンプ車等を使用した、関係機関共同での排水訓練の実施	引き続き実施	北見市						・ポンプ排水訓練に参加	・ポンプ排水訓練に参加	・新型コロナウイルス感染症の関係で実施出来なかった
				訓子府町						・ポンプ排水訓練に参加	・ポンプ排水訓練に参加	・ポンプ排水訓練に参加
				置戸町						・ポンプ排水訓練に参加	・ポンプ排水訓練に参加	・新型コロナウイルス蔓延の影響により不参加
				消防組合						・ポンプ排水訓練に参加	・ポンプ排水訓練に参加	・コロナ禍によりポンプ排水訓練に参加する機会がなかった